

1. 対象部材

内部洋開き戸用ドアストッパー(埋込型)

略称：CjK ドアストッパー

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

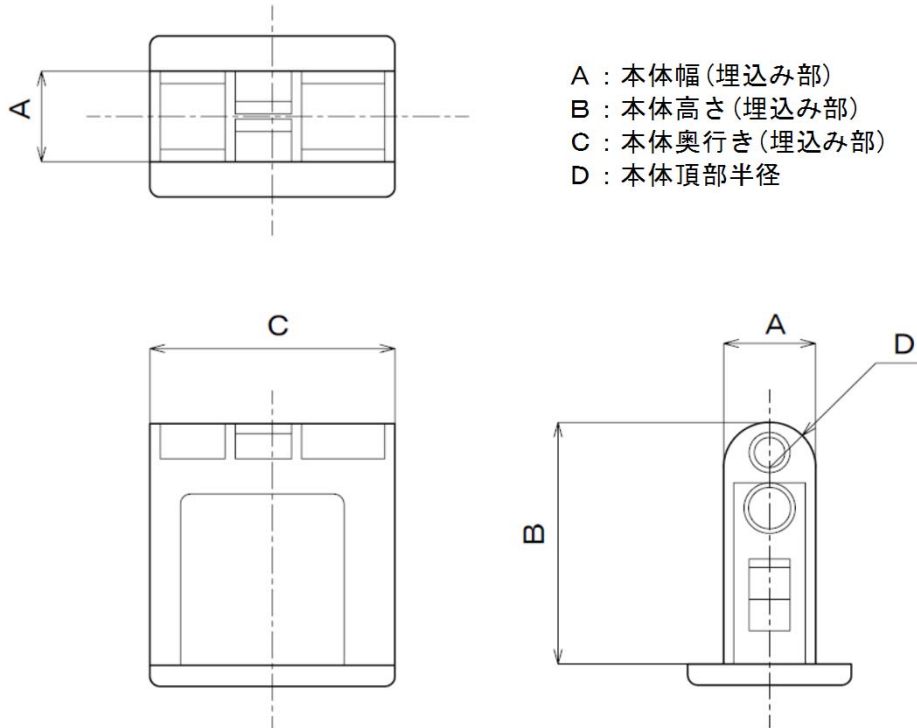


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A : 本体幅(埋込み部)	18
B : 本体高さ(埋込み部)	48
C : 本体奥行き(埋込み部)	48
D : 本体頂部半径	9

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または”CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 開き戸の掘り込み加工について

- ・掘り込み部の加工形状を図2に示す。
- ・掘り込み部の各部位の寸法は表2に示す寸法を基準とし、ドアストッパー本体が支障なく納まるよう加工する。

注記) 寸法規定外の形状については任意とする。

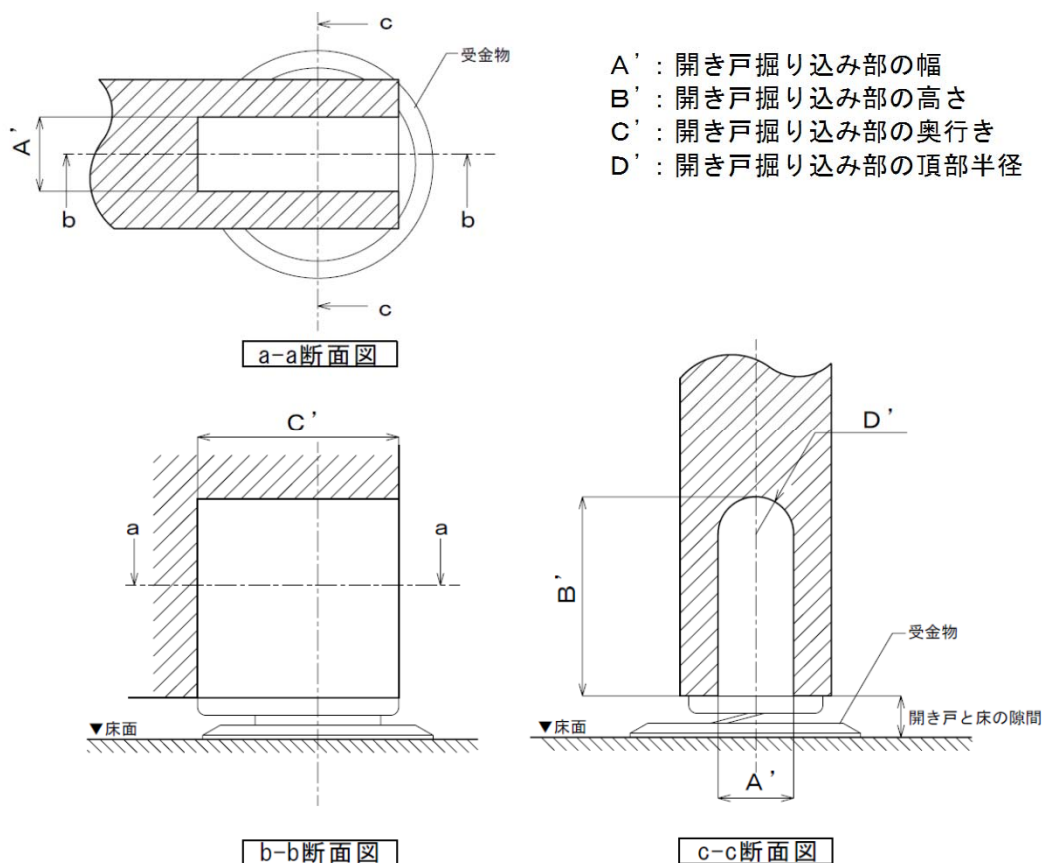


図2－開き戸の加工

表2－開き戸の加工寸法

単位：mm

項目	寸法
A' : 開き戸掘り込み部の幅	18
B' : 開き戸掘り込み部の高さ	48
C' : 開き戸掘り込み部の奥行き	48
D' : 開き戸掘り込み部の頂部半径	9

5.2 開き戸と床の隙間(アンダーカット)について

隙間の寸法は10～15mmの範囲とし、ドアストッパー(受金物を含むセット品)は、その範囲で使用可能なものとする。

5.3 開き戸の扉厚について

CJK部材基準書”034 内部洋開き戸(扉厚)”の規定に基づく。

5.4 受金物について

受金物は床面への掘り込みが不要なものとする。

6. 解説

メンテナンス時は本体と受金物をセットで交換する。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。